公共交通が変わる

身近な公共交通へ、もっと便利に。

西脇市では、今後さらに高齢化が進み、自動車を運転できない人が増えることを見込んでおり、日常生活で移動を支える公共交通の重要性は、ますます高くなってきています。

しかしながら、自宅が駅やバス停から離れていて、鉄道やバスなどの公共交通機関の利用が難しい地域があります。また、今年春に新庁舎・市民交流施設オリナスへ移転することに合わせ、現在のコミュニティバスの路線網を見直す必要があります。

これらの課題を踏まえ、公共交通の利便性を向上させるとともに、公共交通空白地域を解消するため、令和3年4月に市内の公共交通網を再編します。再編は、アンケートや地域公共交通会議で寄せられた意見を反映し、より地域の実情に沿ったものとしています。

◆問合せ
次世代創生課（市役所内線225）

地域公共交通会議は、道路運送法などに基づき設置する法定会議。公共交通の事業者や利用者、区長会や各種団体の代表者、行政などが参加。

暮らしに合った公共交通に

令和３年春に完成予定の新庁舎・市民交流施設オリナスは、バス事業者の営業所に隣接。庁舎の移転を機に、オリナスを起点とした公共交通ネットワークに再編します。

今のコミュニティバスはこう変わる

しばざくら号 → **循環バス** ※ループバス**めぐリン**に
おりひめバス → **運行継続** ※昼間を中心に**減便**
つくしバス → **3月31日廃止** ※デマンド型交通を**運行**

コミュニティバスの見直し

しばざくら号は名称がループバス「めぐリン」に、車両がワゴンタイプ（乗客定員12人）になります。2台のバスが環状線のように市街地を結び、時計回りと反時計回りに循環します。

おりひめバスは、路線を維持した上で、昼間を中心に減便します。

つくしバスは、令和3年3月31日をもって廃止します。

デマンド型交通導入へ

バスや鉄道がない公共交通空白地域を解消するため、デマンド型交通・乗合タクシー「むすブン」を導入します。市内を2つの区域に分け、ワゴンタイプの車両（乗客定員4人）で運行します。利用者が乗車したい場所と、市内の登録された目的地を結びます＝左図。

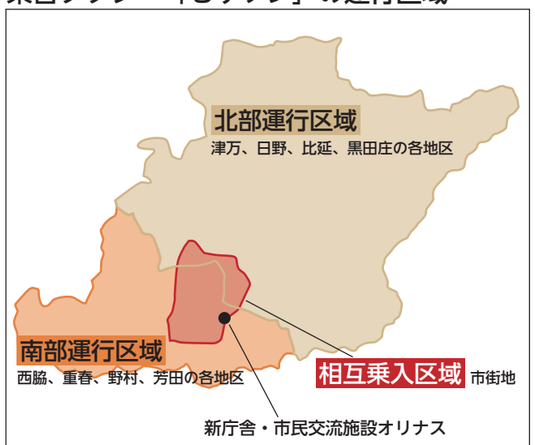
市内は均一料金制度に

コミュニティバスと路線バスの市内間乗車の料金が、100円になります（路線バスはNicoPa（ニコパ）利用時のみ）。

◇

6～7ページに公共交通ごとの特徴と利用方法をまとめています。

乗合タクシー「むすブン」の運行区域



次のような利用ができます。
・北部または南部運行区域内での乗降
・相互乗入区域へ（から）の乗車

デマンド型交通とは

デマンドとは、日本語で「需要」という意味。利用者の需要に合った公共交通を提供するものです。

本市の乗合タクシー「むすブン」は、利用者の事前の予約に基づいて運行します。

乗合タクシー「むすブン」

車いすやベビーカーも乗車可

種類と特徴

4月1日から市が運営する公共交通と、その特徴を紹介します。

今回の見直しによって、津万地区と黒田庄地区などで運行していた「つくしバス」は廃止となります。4月以降は乗合タクシー「むすブン」をご利用ください。

◆問合せ　次世代創生課（市役所内線225）

ホームページにも掲載

新規 むすブン

乗合タクシー

予約に応じて運行

市内の全域で運行する乗合タクシーで、あらかじめ利用登録した方が利用できます。利用者が乗車したい場所と、市が登録した目的地を結びます。利用には事前の予約が必要で、複数人が同じ車に乗り合わせます。

土曜日も運行

ワゴンタイプの車両で、月曜日～土曜日に運行します（祝日と年末年始は運休）。

1乗車200円

※65歳以上の方など

65歳以上の方と小学生、障害のある方が200円、それ以外の方が400円です。回数券もあります（20回分5千円）。

見直し おりひめバス

比延と市街地を結ぶコミバス

現行ルートを運行

主に比延地区と津万地区を走るコミュニティバス。市街地にある公共施設や医療機関、商業施設などを経由し、住吉町と西脇市駅を結びます。

平日のみ運行

現行のおりひめバスの車両で、月曜日～金曜日に3往復6便（現在は6往復12便）を運行します（祝日と年末年始は運休）。

均一100円

乗車区間に関わらず、料金は100円になります（大人、小児共通。現金または交通系ＩＣカードで支払い時）。

新規 めぐリン

ループバス（市街地循環バス）

市街地を循環

市街地を循環するコミュニティバス。新庁舎・市民交流施設オリナスを起点に、市街地の公共施設や医療機関などを結びます。

土曜日も運行

ワゴンタイプの車両2台が、時計回りと反時計回りに循環します。月曜日～土曜日に一定の間隔（パターンダイヤ）で運行します（祝日と年末年始は運休）。

均一100円

乗車区間に関わらず、料金は100円になります（大人、小児共通。現金または交通系ＩＣカードで支払い時）。

キャッシュレスでバスに乗れる

全国の交通系ＩＣカードが使える

市内のコミュニティバスや路線バスでは、ＪＲ西日本のＩＣＯＣＡ（イコカ）など、全国の交通系ＩＣカードで料金を支払うことができます（むすブンは利用不可）。カードは、西脇市駅などのＪＲ主要駅で購入でき、駅やコンビニエンスストアなどで、チャージ（入金）することができます。

また、神姫バスのＮｉｃｏＰａ（ニコパ）で支払うこともできます。ＮｉｃｏＰａは、神姫グリーンバス西脇営業所で購入が可能。営業所などでチャージすることができます。

◆ＮｉｃｏＰａに関する問合せ
神姫グリーンバス西脇営業所（☎22-7374）

むすブン Q&A

利用するために必要なことは？

あらかじめ利用登録の申し込みが必要です。申込書は、広報にしわき1月号と同時配布しています。

◆申込み・問合せ
次世代創生課（市役所内線225）

どんな利用ができますか？

北部（津万、日野、比延、黒田庄の各地区）と、南部（西脇、重春、野村、芳田の各地区）の運行区域に分け、各運行区域のうち、市街地を相互乗入区域とします。

乗車区間	利用の可否
同一区域内での乗車	1乗車として利用可
相互乗入区域へ（から）の乗車	1乗車として利用可
北部⇔南部の乗車	利用不可※

※特例目的地（医療機関とやすらぎ苑）で乗車時または下車時は利用可（料金は2乗車分）

利用日の7日前から乗車時間の1時間前（早朝の利用は前日）までに予約することで利用できます。

運行時間は？

月曜日～金曜日は午前7時30分～午後5時30分で、土曜日は午前8時30分～午後0時30分です。

どこで乗り降りできますか？

自宅付近の指定場所と市が登録した場所（医療、公共、商業の各施設、金融機関、飲食店など）です。指定場所は、ごみステーションや公民館など、安全に車両が乗り入れできる所（条件あり）を利用登録申請時に決めていただきます。

4月に詳細をお知らせします

運行ダイヤや運行ルート、利用方法など、公共交通の詳細をまとめた冊子を、広報にしわき4月号と同時配布します。

また、市ホームページでも紹介していますので、ご覧ください。

路線バスも100円に

※ＮｉｃｏＰａで支払う場合。小児は50円。

神姫バスグループが運行する路線バスにも、市内均一料金制度を導入します。同社のＮｉｃｏＰａ（ニコパ）で支払う場合、市内間乗車の料金が、大人は100円、小児は50円になります。

◆問合せ　神姫グリーンバス西脇営業所（☎22-7374）